

あなたの声で渋滞解消へ ～渋滞箇所のアンケート調査結果がまとまりました～

【概要】

- ・徳島地区渋滞対策協議会では、今後の渋滞対策を検討するにあたり、渋滞対策に対するニーズ把握を目的とし、日頃から道路を利用されている皆様が感じている渋滞箇所について、場所や方向、時間帯などをお知らせいただくアンケート調査を実施しました。
- ・多くの皆様にご協力いただいたアンケート調査結果がまとまりましたので、別添のとおり、概要をご報告します。
- ・なお、今後アンケート結果をもとに渋滞解消に向けて対策の検討を行ってまいります。

〈渋滞に関するアンケート調査結果概要〉

- ・調査目的: 徳島県内の渋滞箇所の把握と渋滞対策のニーズ把握等
- ・調査方法: パソコン及び携帯電話によるWebアンケート調査
- ・実施期間: 平成21年11月 2日(月)～11月30日(月)
- ・回答者数: 1, 011名



※徳島地区渋滞対策協議会とは、徳島県内における慢性的な交通渋滞を解消し、円滑な交通を確保するため、施設の整備や輸送効率の向上、交通需要の時間的平準化など、いろいろな渋滞対策を推進することを目的とし、国土交通省、徳島県、徳島県 警察本部、徳島市、西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)から構成されています。

徳島地区渋滞対策協議会

※本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組みに関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 副所長	TEL: 088-654-2211 (代表) 上林 正幸 (かみばやし まさゆき) 内線 205
◎道路調査第一課長	神山 泰 (こうやま やすし) 内線 451
国土交通省 四国運輸局 徳島運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)	石垣 融二 (いしがき ゆうじ) TEL: 088-622-7622
徳島県 県土整備部 都市計画課 技術課長補佐	加藤 建男 (かとう たてお) TEL: 088-621-2565
道路総局道路企画課 技術課長補佐	久米 正浩 (くめ まさひろ) TEL: 088-621-2554
運輸政策総局交通政策課 課長補佐	中西 洋一 (なかにし よういち) TEL: 088-621-2127
徳島県 警察本部 交通部 交通企画課 課長補佐	若尾 光宏 (わかお みつひろ) TEL: 088-622-3101
交通規制課 課長補佐	岡島 良彰 (おかじま よしあき) TEL: 088-622-3101
徳島市 都市整備部 まちづくり推進総室 地域交通課長	松本 泰典 (まつもと やすのり) TEL: 088-621-5534
西日本高速道路(株) 四国支社 徳島工事事務所 工務課長	久保井 泰博 (くぼい やすひろ) TEL: 088-626-2021
徳島管理事務所 工務担当課長	石井 義信 (いしい よしのぶ) TEL: 088-641-4494
本州四国連絡高速道路(株) 鳴門管理センター 計画課長	寺下 孝男 (てらした たかお) TEL: 088-687-2167

◎: 主たる問い合わせ先

**「渋滞に関するアンケート調査」
結果概要について**

平成22年3月
徳島地区渋滞対策協議会

1. アンケート調査の概要

(1) 調査方法等

- 調査対象：徳島県の道路を利用される方
- 実施方法：PC版及び携帯版のwebアンケート調査
- 実施期間：平成21年11月2日～11月30日
- 回答者数：1,011人（うち携帯版：125人）
- 調査項目：
 - (1) 回答者の属性(問1～4)
 - (2) 自動車の利用状況(問5～8)
 - (3) データからみた混雑箇所（83箇所）についての評価(問9)
 - (4) 83箇所以外で渋滞していると感じる箇所(問10)
 - (5) 道路行政や公共交通などに対する自由意見(問11)

(2) 結果の概要

- Q1. 居住地：徳島市在住が37%、東みよし町在住が8%
- Q2. 性別：「男性」が69%、「女性」が21%、「無回答」10%
- Q3. 年齢：「30歳代」が31%、「40歳代」が24%
- Q4. 職業：「会社員・公務員等」が85%
- Q5. 運転有無：「車を運転する」が88%
- Q6. 自動車の利用目的
 - ：「通勤や通学」が61%、「食事や娯楽」が10%
- Q7. 自動車の利用頻度
 - ：「毎日」が67%、「週に2～3回」が14%
- Q8. 最もよく利用される移動手段
 - ：「自動車」が69%、「徒歩・自転車」が15%

Q9. データからみた混雑箇所(83箇所)への評価 渋滞していると感じる交差点(上位5箇所)

第1位：徳島本町交差点(国道11号・徳島市)	70人
第2位：県庁前交差点(国道55号・徳島市)	56人
第3位：勝浦川橋南詰交差点(国道55号・小松島市)	51人
第4位：助任本町四丁目交差点(徳島鳴門線・徳島市)	43人
第5位：吉野橋東詰交差点(徳島鳴門線・徳島市)	35人

Q10. 83箇所以外で渋滞していると感じる箇所

第1位：鯛浜橋北交差点(徳島環状線・徳島市)	10人
第2位：鯛浜交差点(徳島環状線・徳島市)	6人
第3位：吉野川橋北詰交差点(徳島鳴門線・徳島市)	4人
〃：田宮高架下交差点(徳島鴨島線・徳島市)	4人
〃：論田保育所前交差点(徳島小松島線・徳島市)	4人
〃：南島交差点(国道55号・阿南市)	4人

1. アンケート調査の概要

◇アンケート結果で「渋滞している」と感じる上位箇所

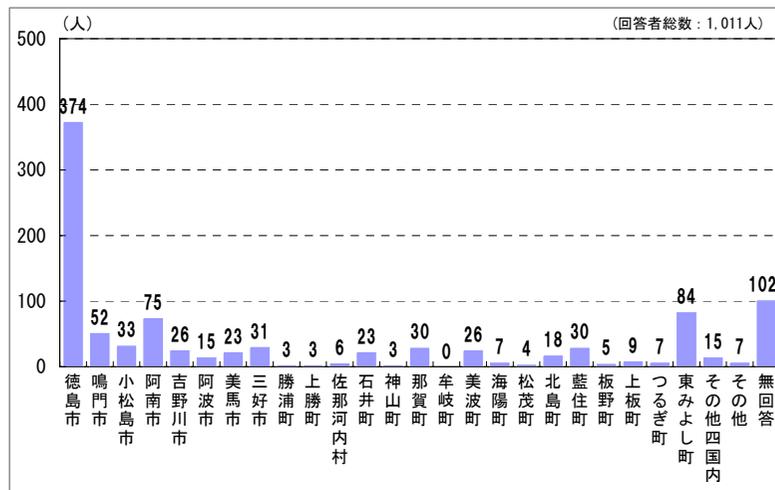


2. アンケート調査の結果

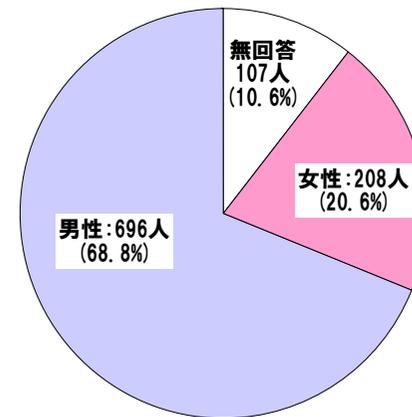
(1) 回答者の属性

- Q1. 居住地：徳島市が374人(36.7%)と最も多く、以下東みよし町84人(8.3%)、阿南市75人(7.4%)と続く
 Q2. 性別：男性696人(68.8%)、女性208人(20.6%)
 Q3. 年代：30歳代が315人(31.2%)と最も多く、以下40歳代247人(24.4%)、50歳代207人(20.5%)と続く
 Q4. 職業：会社員・公務員等が816人(85.1%)と最も多い

Q1. 市町村別の回答者数

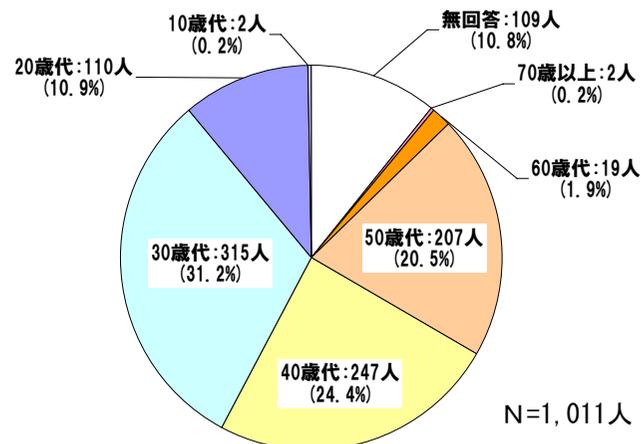


Q2. 性別回答者数



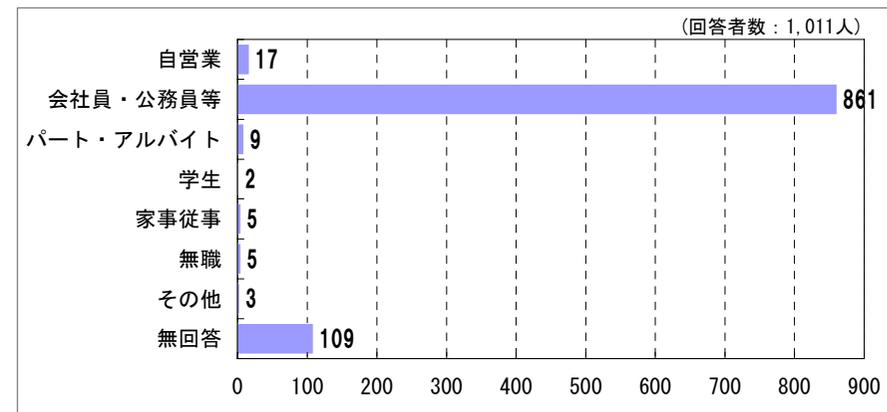
N=1,011人

Q3. 年代別回答者数



N=1,011人

Q4. 職業別の回答者数



2. アンケート調査の結果

(2) 自動車の利用状況

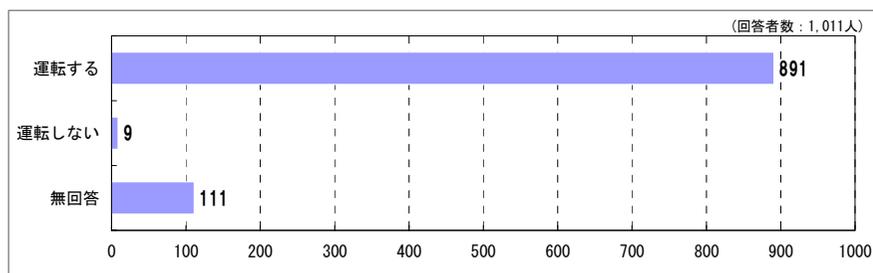
Q5. 運転の有無 : 自動車を運転するが891人(88.1%)を占める

Q6. 主な利用目的 : 「通勤・通学」が616人(60.9%)と最も多く、「食事や娯楽」105人(10.4%)、「買い物や通院」102人(10.1%)となっている

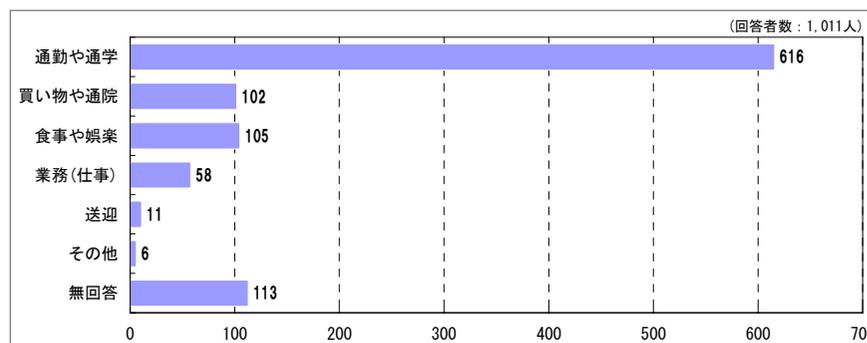
Q7. 利用頻度 : 「毎日」が681人(67.4%)と最も多く、以下「週に2~3回」145人(14.4%)、「週1回程度」61人(6.0%)と続く

Q8. 主な移動手段 : 「自動車」が697人(68.9%)と多く、次いで「徒歩・自転車」147人(14.5%)となっている

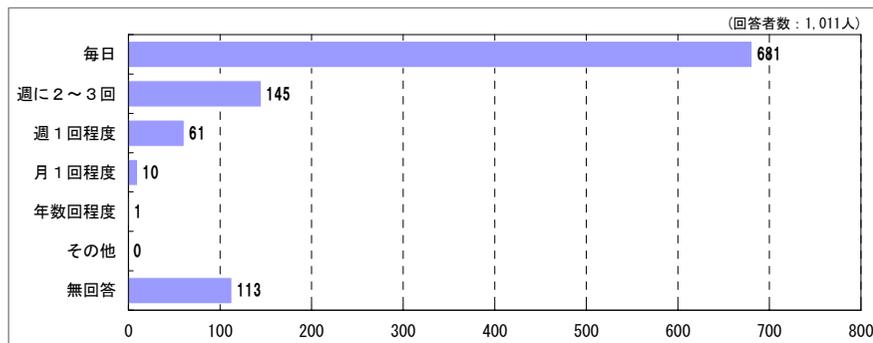
Q5. 運転の有無



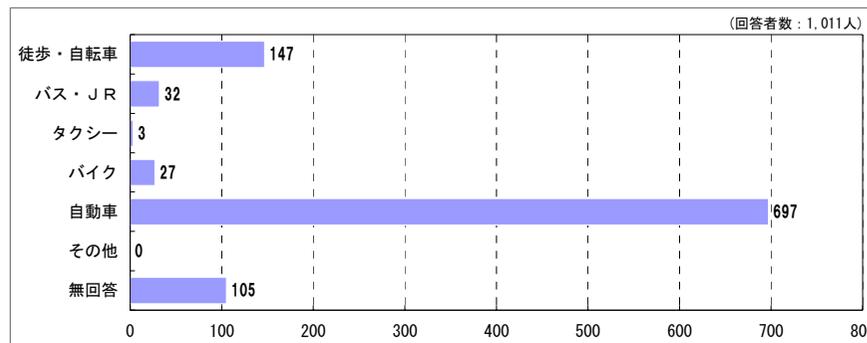
Q6. 自動車の主な利用目的



Q7. 自動車の利用頻度



Q8. 主な移動手段



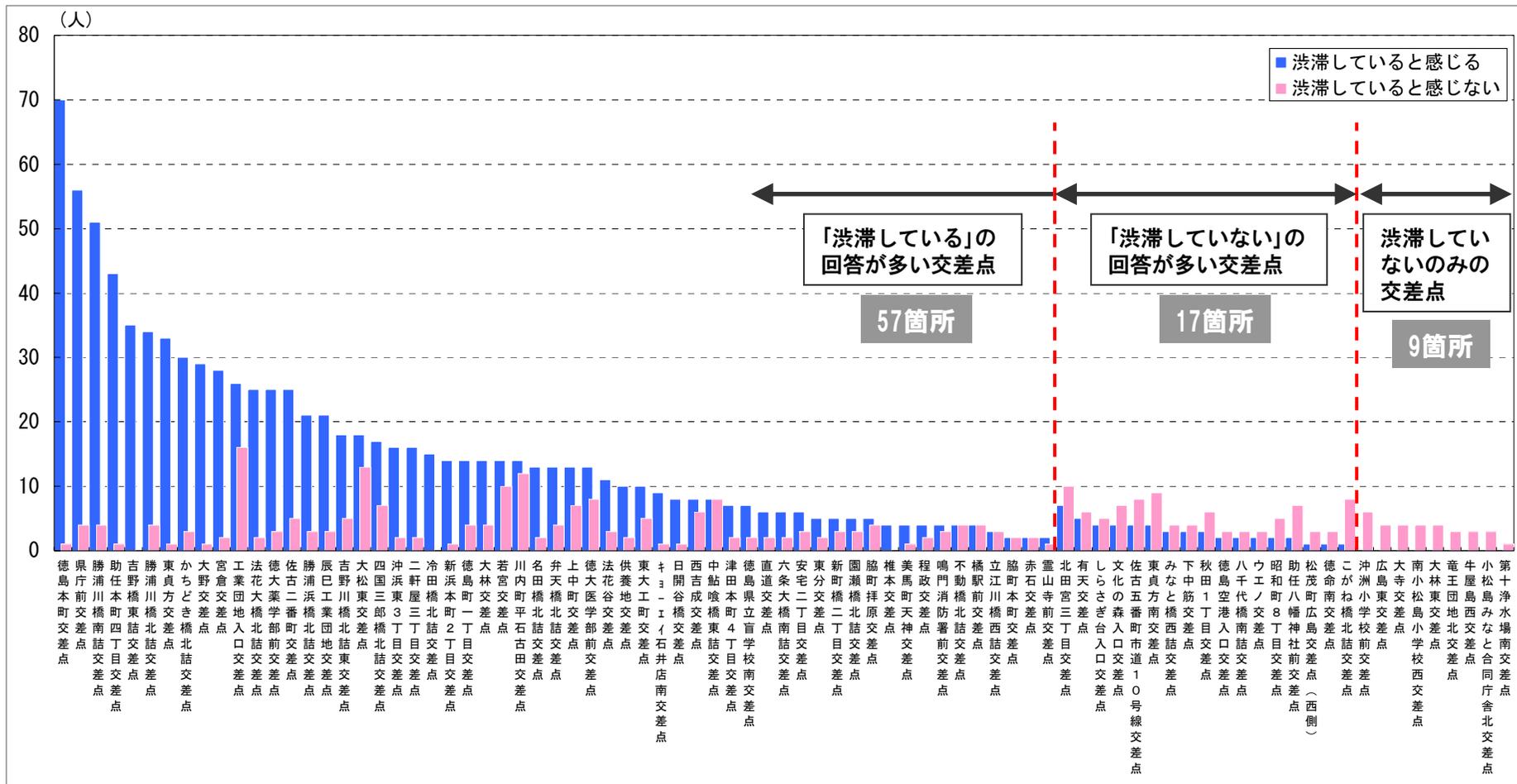
2. アンケート調査の結果

(3) データからみて混雑している箇所(83箇所)の評価

・VICS等のデータからみて混雑しているとされた箇所(83箇所)のうち、「渋滞している」との回答があった交差点は74箇所、「渋滞していない」のみの回答であった交差点は9箇所であった。

○「渋滞している」と感じる交差点：徳島本町交差点(70人)、県庁前交差点(56人)、勝浦川橋南詰交差点(51人)など74箇所

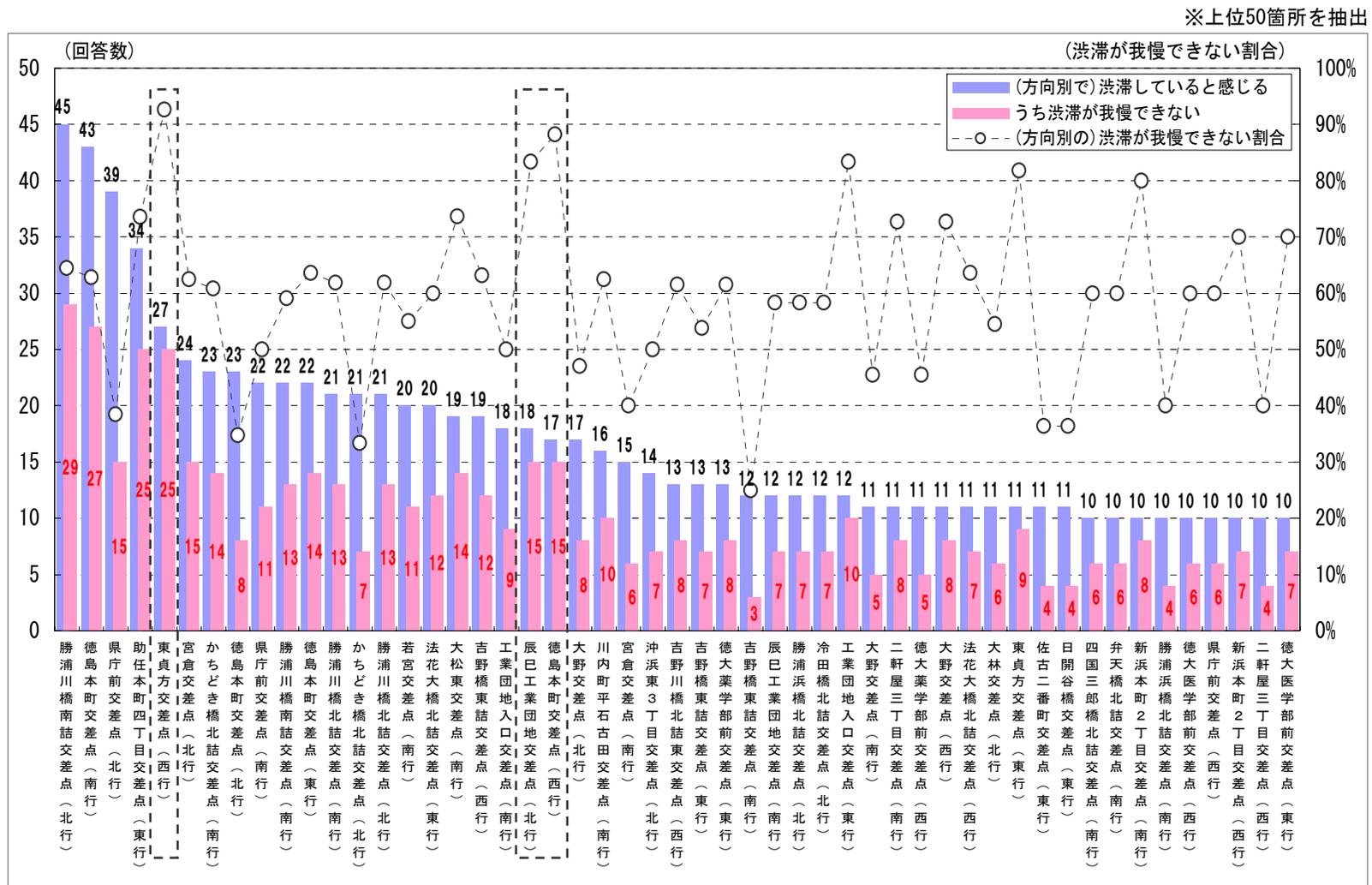
○「渋滞していない」 ” ”：沖洲小学校前交差点(6人)、広島東交差点、大寺交差点、南小松島小学校西交差点、大林東交差点(4人) など9箇所



2. アンケート調査の結果

(3) データからみて混雑している箇所(83箇所)の評価

- ・ 渋滞していると感じる交差点で方向別にみると、「勝浦川橋南詰交差点(北行)」が45人と最も多く、次いで「徳島本町交差点(南行き)」が43人、「県庁前交差点(北行)」が39人となっている。
- ・ 渋滞が我慢できない割合の高い箇所では、「東貞方交差点(西行き)」(93%)、「徳島本町交差点(西行)」(88%)、「辰巳工業団地前交差点(北行き)」(83%)があげられる。

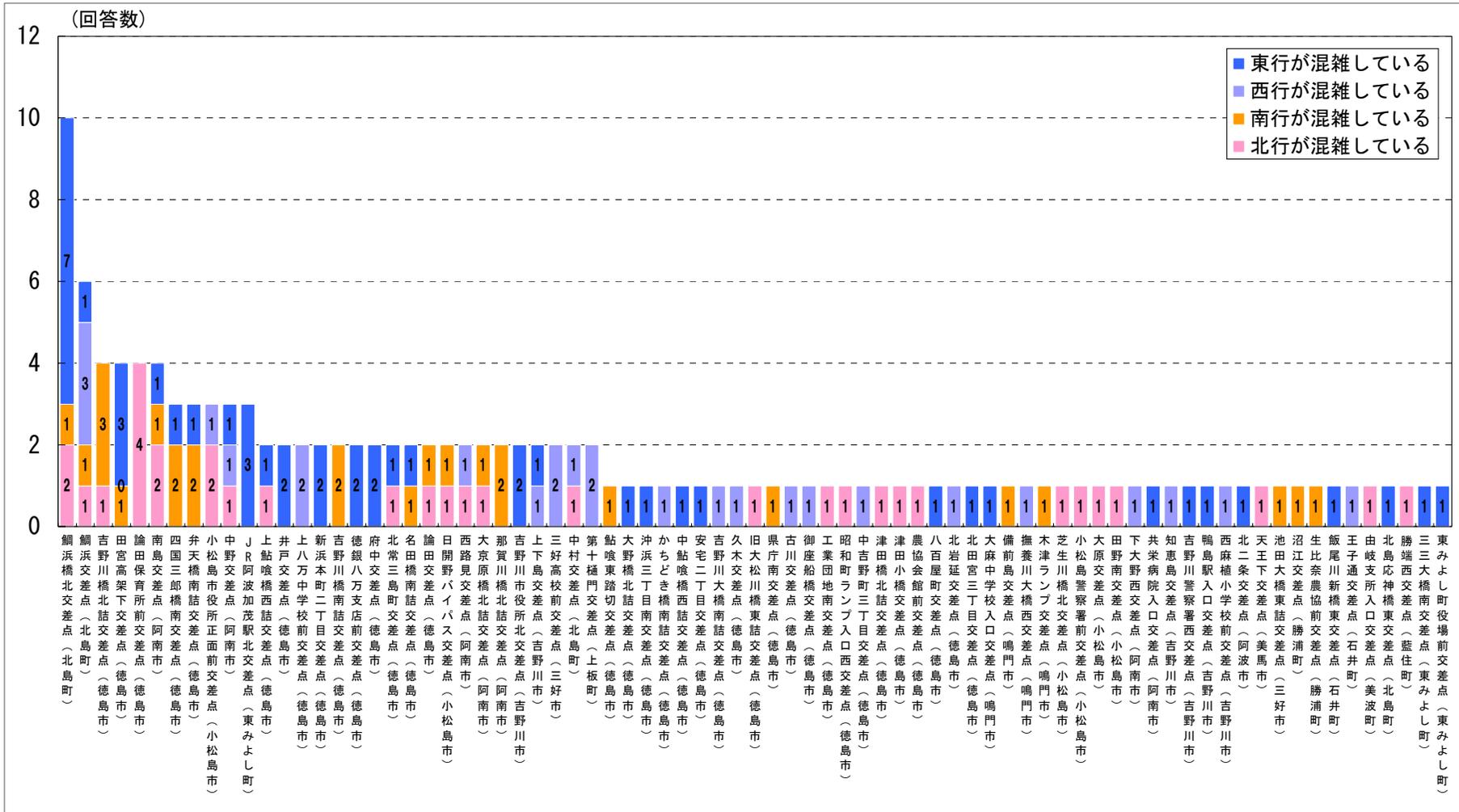


2. アンケート調査の結果

(4) 83箇所以外で混雑していると感じる箇所

・ 83箇所以外で「渋滞している」と感じる交差点は「77箇所」(83箇所との重複を除く)

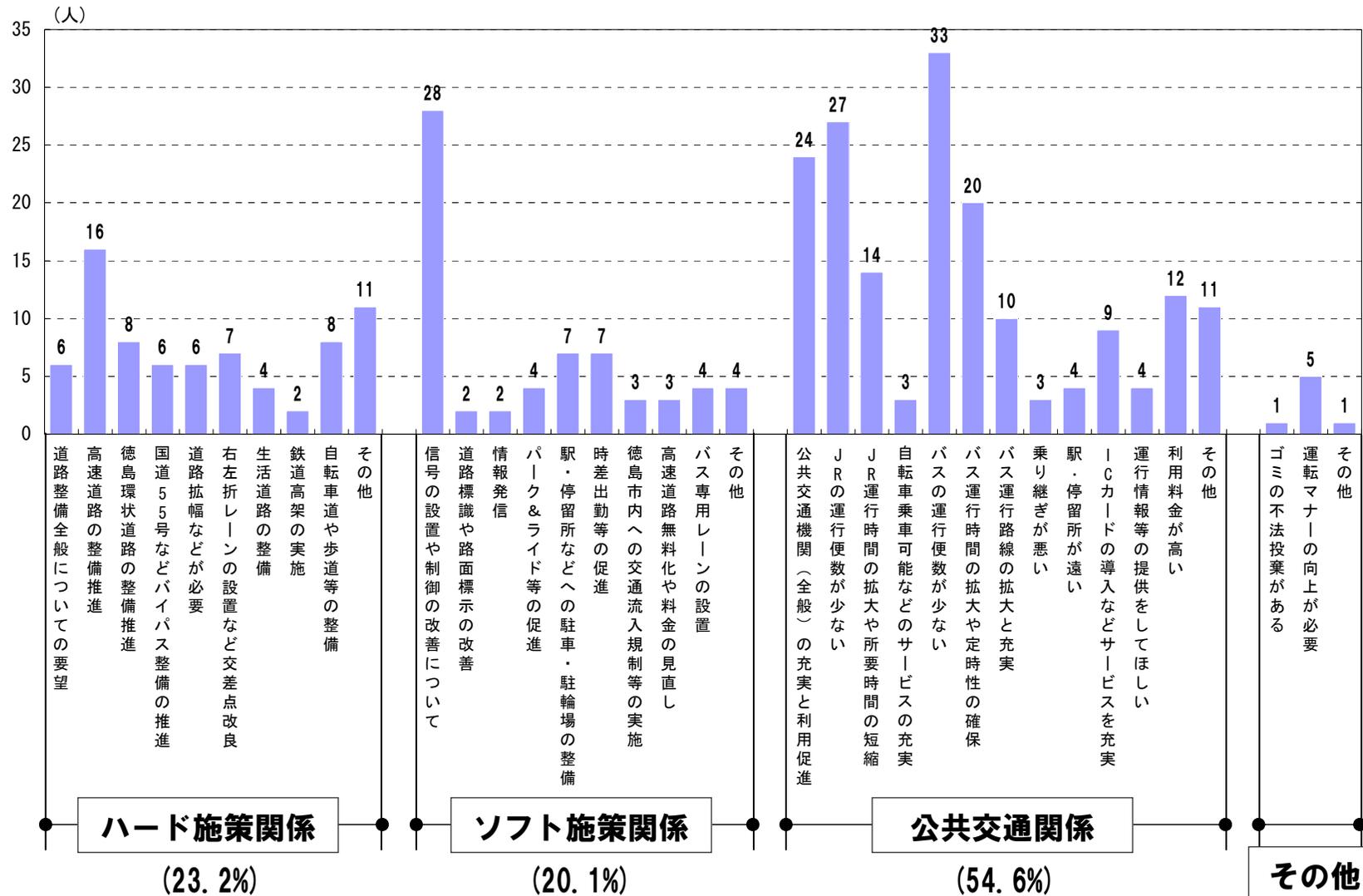
○ 「渋滞している」と感じる交差点： 鯛浜橋北詰交差点(10人)、鯛浜北交差点(6人)、吉野川橋北詰交差点、田宮高架下交差点、論田保育所前交差点、南島交差点(4人) など



2. アンケート調査の結果

(5) 道路行政や公共交通に対する自由意見

- ・自由意見としては218名の方から回答が寄せられた。
- ・主な意見は、公共交通の充実(便数、運行時間の拡充、サービスの充実など)、信号制御についての要望や四国横断自動車道などの高規格幹線道路の整備推進などに対する意見が多く寄せられている。



参考、混雑多発箇所の抽出方法について

徳島地区渋滞対策協議会では、平均速度が20km/h以下の箇所を混雑と定義し、決められた時間帯の中で50%以上混雑している箇所を混雑多発箇所（データからみた混雑箇所）として抽出しています。

混雑の指標には混雑発生時間、旅行速度、渋滞損失時間を用いており、判定にはVICS情報、プローブ（旅行速度）、H17センサス交通量を使用しています。

指標	判定基準	
混雑発生時間 (VICS情報)	平日	7時～10時、10時～13時、13時～16時、16時～19時の3時間帯の中で90分以上混雑している箇所
	休日	7時～19時の昼間12時間の中で360分以上混雑している箇所
旅行速度 (プローブ)	平日	7時～10時、10時～13時、13時～16時、16時～19時の3時間帯の内2時間で旅行速度が20km/h以下の箇所
	休日	7時～19時の昼間12時間帯の内360分で旅行速度が20km/h以下の箇所
渋滞損失時間 (プローブ、 H17センサス)	平日・ 休日	年間の渋滞損失時間が30,000人時間/km以上の箇所 ※30,000人時間/km：昼間12h交通量の50%が平均速度20km/h以下で走行すると仮定した試算値

※VICS：(財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)で編集、処理された渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する情報通信システム。大半の高速道路と都市圏の一般道路を対象に、渋滞・工事等の情報を提供するほか、駐車場の混雑状況などを表示する機能も備える。(VICS情報は24時間365日提供)

※プローブ：車両をセンサーとしてとらえ、GPSにより走行速度情報、位置情報等を収集することにより、交通流動等の道路交通情報を生成するシステム。

※H17センサス：H17年度に全国的に実施された交通量調査。

※渋滞損失時間：基準となる旅行時間（基準旅行時間）から実際にかかった旅行時間の遅れ時間を渋滞損失時間という。よって、「基準旅行時間」から少しでも余分に時間がかかれば、「渋滞損失時間」は発生することとなる。